

## 岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

### ②事業者情報

名 称：大垣市社会福祉事業団 大垣市柿の木荘	種別：障害者支援施設
代表者氏名：伊藤 哲也	利用定員：施設入所支援 30名 生活介護事業 60名
所在地：大垣市古宮町397番地1	Tel 0584-89-9500

### ③総 評

#### ◇特に評価の高い点

当事業所は閑静な住宅街の福祉ゾーンの一画に位置している。建物は築23年を経ているが、平屋造りで採光がどの部屋にも十分行き渡るよう設計されており、どこにいてもとても明るく、過ごしやすさを感じた。また床暖房やヒーター、換気扇等も取り付けられ、西風防止の風よけも設置する等して事業所内が暖かく、ゆったりとした生活ができる環境である。

「あせらず、おこらず、なげださず」と誰にでも分かりやすい理念に基づき、職員は利用者に優しく声かけする等、いつも穏やかな姿勢で接している。また利用者のできることに着目し、その能力を引き出しながら、共に活動して行くことを通して、意欲を引き出し、達成感を共有しつつ利用者主体の支援に努めている。また日常の勤務の他、建物の清掃やワックスがけを職員で行う等アメニティの充実が心掛け、利用者にとってより快適な生活の場の提供に努めている。

この事業所の大きな特色として、週末、自宅に帰省する利用者が多いことがあげられる。家族とのつながりを大切にし、協力を働きかけることで、家族との絆の継続や利用者の心の安定に貢献している。その一方で正月等家庭の事情で帰省できない利用者については職員と一緒に鍋を囲む等、家庭的に楽しく過ごせるような工夫を凝らしている。

各種書類、各種マニュアル(利用者ケア、処遇に関するマニュアル)については、様式、内容が具体的であり、分かりやすく、均質な支援ができるよう整備されている。

支援については、利用者一人ひとりの関心、能力等をアセスメントし、その個性に応じた様々なメニューを準備し、自立した生活を目指して日々の生活支援や作業、班活動を展開している。例としては『「命が命を救う」ペニシリンを送ろう運動』に参加し、そのペットボトルのキャップ数えを楽しみながら正確に集められるよう工夫を凝らし、また近隣の商店等にキャップ収集の協力依頼をする等して、交流のひとつにつなげている。

作業面では利用者が参加しやすくするため、例えば牛乳パックの座椅子作りの工程を利用者一

人ひとりの個性を考慮して分別する等工夫している。

生活面では利用者の利便性向上のため、例えば雑誌ラックに車輪をつける等の工夫や創作クラブに参加を促すため、利用者の好みによって選択できるよう4つのクラブ活動を行っている。

職員が地域に出向き、地域の社会資源を見出す取り組みを行っている。

◇改善を求められる点

今後さらに、利用者の活動を継続的に支え、かつ拡充するために視野を広げ、幅広い分野で新たな資源開発に向けた取り組みに期待したい。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価を受け、施設の支援を振り返る良い機会を得ることができました。第三者の目で施設を見て頂くことで、改めて、気づかされることがたくさんありました。地域に支えられている事を実感したり、職員の資質向上に今後も励んでいくことが必要であるとも感じました。今回の結果を踏まえ、職員一人一人のスキルアップが図れるよう、個に着目して今後も取り組んでいきたいと思えます。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）